

[証券コード6155]

TAKAMAZ

高松機械工業株式会社

第55期 第2四半期株主通信

平成27年4月1日から平成27年9月30日



Contents

- P1. 株主の皆様へ
- P3. トピックス
- P5. 業績の推移
- P6. 第2四半期連結財務諸表
- P8. 株式の状況
- P9. 会社の概要
- P10. アンケートのご報告

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成27年9月30日をもちまして第55期第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日)を終了いたしましたので、ここに営業の概況ならびに第2四半期決算の状況についてご報告申し上げます。

代表取締役社長 高松 喜与志

■ 当第2四半期連結累計期間の市場動向および成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速などの影響により先行きに不透明感はあるものの、企業業績や雇用情勢に改善の動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

工作機械業界におきましては、企業収益の改善等を背景として高い水準の設備投資計画が持続していることなどにより、業況は底堅い動きとなりましたが、中国を始めとするアジア新興国等の景気減速や国の省エネルギー設備導入補助制度の終了による影響から、平成27年8月の業界受注総額が18か月ぶりに1,100億円を下回り、平成27年9月も引き続き1,100億円に届きませんでした。

このような環境の中での当社グループの工作機械受注動向は、前年同期に比較して国内向けがやや低調に推移し、また、海外向け受注がタイやベトナムといったアジア新興国向けを中心として減少するなど、全体として減速傾向にありました。

そこで当社グループでは、ユーザーニーズに対応した提案型

営業による受注確保や、生産の最適化・効率化に努めてきました。

平成27年8月には、インドネシア販売子会社において、現地でのTAKAMAZブランドの浸透や評価向上を目的として、プライベート・ショーを開催しました。

更に、平成27年9月には、本社工場において新製品発表展示会を開催し「XW-60M」と「XG-4」の2機種を発表しました。「XW-60M」は、省スペースと高生産性を両立する6インチミドルマシンである「XW-60」に、回転工具を装着することにより、加工バリエーションを拡大させた2スピンドル2タレット精密旋盤です。また、「XG-4」は、高い加工精度と作業者の操作性向上を実現した、ハイクオリティでコンパクトな1スピンドル1スライド精密旋盤です。新製品発表展示会ではデモ加工などを交えつつ生産性向上に貢献するソリューションを提案し、多くの引合・受注をいただくことができました。

IT関連製造装置事業においては、半導体および液晶関連の受注が安定し、良好な事業環境が持続する中、新規顧客の開拓による売上高の確保と、リードタイムの短縮や粗利管理の徹底による収益性の改善を実施してきました。

自動車部品加工事業においては、国内自動車産業の好業

績を受けて、受注が概ね計画を上回り高い水準で推移する中、新規受注の獲得や新規顧客の開拓、生産体制の合理化に取り組んできました。しかし、新設ラインの構築に係る費用や、平成27年2月に設立したタイ連結子会社の立ち上げに係る費用が利益を押し下げました。

以上のような営業活動を行ってきた結果、工作機械受注高が前年同期比9.2%減の66億77百万円、売上高が同9.2%増の93億78百万円となりました。利益は、営業利益が8億33百万円、経常利益が8億88百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が5億87百万円と、前年同期よりも増収増益となりました。

■ 今後の見通し

日本経済は、中国を始めとする新興国経済が減速していることで依然として先行きが見通しにくく、引き続き海外経済動向の注視が必要となっています。

工作機械業界は、中期的な先行きにおいては堅調な推移が期待されていますが、足元で景況感が悪化し、今年度の見通しは不透明感が強まっています。

当社グループにおきましては、受注先行きに懸念があり、また、アジア新興国等の景気減速の影響により海外売上高が減少する見通しから、通期業績予想を売上高193億85百万円、営業利益16億87百万円、経常利益17億73百万円、親会社株主に帰属する当期純利益11億95百万円に修正しました。

このような状況にあります当社グループは目標達成に向けて、平成27年9月に開催した新製品発表展示会や平成27年10月に開催されたEMO2015およびメカトロテックジャパン2015ではユーザから多くの引合をいただいでい

ますので、受注につなげるべく積極的な営業活動を推進します。

提案型営業を行う中で「見せる営業」を推進し、よりわかりやすくユーザに提案していくことで需要の掘り起こしをはかるとともに、主要ディーラやユーザとの関係強化をはかるとともに、定期的なミーティングや計画的訪問を実施します。

海外設備投資案件に対しては、国内外拠点間の情報共有とグループ会社間の連携強化を進め、ユーザに適切な対応をとるとともに、特に重要性の高まりが見込める地域に対してのグローバルサービス体制強化を検討・推進します。

また、現在は海外経済動向の影響から受注が落ち着きを見せる中、生産拡大対応を続けてきたことで受注残が減少していますが、中長期的視点から企業成長を続けていくために計画的な設備投資・人材育成などを継続して行い、より多くの受注に対応できる生産体制を構築していきます。

IT関連製造装置事業においては、取引先の多様化や引合に対する積極的な営業活動によって受注確保をはかり、自動車部品加工事業においては、定期的な営業活動の継続による受注確保と加工ラインの自動化による生産拡大に努めます。

当社グループは、一丸となって目標の達成と企業体制の強化に向けてまい進していく所存でありますので、今後ともご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年12月

トピックス

プライベート・ショーを開催しました

新製品発表展示会(本社)

平成27年9月7日～9日、本社工場にて新製品発表展示会を開催しました。「GSL-10」を発表した平成25年12月以来、約2年ぶりの開催です。今回は新開発の2機種「XW-60M」「XG-4」を発表するとともに、全13機種を展示して生産性向上や省エネ等を提案しました。

台風18号の影響で天候不良の中の開催となりましたが、主に関東・関西・東海地区から3日間で750名近くのディーラ様・ユーザ様にご来社いただきました。会場では設備投資意欲が旺盛な皆様と有意義な商談が行われ、多くの引合・受注につながりました。

また懇親会を金沢城公園内にある五十間長屋で行い、金沢の伝統と風土を堪能していただきました。



海外プライベート・ショー

海外需要の取り込みと販路拡大をはかるため、現地の販売子会社にてプライベート・ショーを実施しています。

平成27年6月には、景気動向が良好なアメリカと、自動車産業が盛んなタイで開催しました。

平成27年8月には、将来的な需要拡大が期待できるインドネシアで開催し、TAKAMAZブランドの浸透をはかりました。

いずれのプライベート・ショーにおいても、多くのディーラ様・ユーザ様にご来場いただき、十分な成果を上げることができました。



アメリカ



タイ



インドネシア

展示会に出展しました

EMO MILANO 2015

世界三大工作機械見本市の一つである欧州国際工作機械見本市(EMO)が平成27年10月5日～10日の6日間、イタリア・ミラノにて開催されました。

ヨーロッパで緩やかな景気回復が続く中、最新製品・技術を視察するために15万人以上が訪れました。

当社は「XC-100」2台連結機など4機種5台を出展し、日本のものづくりの力をアピールするとともにTAKAMAZブランドの知名度向上をはかりました。

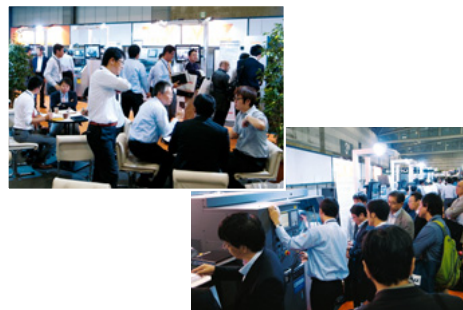


メカトロテックジャパン2015

メカトロテックジャパンは、日本国際工作機械見本市(JIMTOF)に次ぐ国内で2番目の規模を誇り、毎回多くの出展者・来場者で賑わいを見せています。

今回は平成27年10月に開催され、当社はコストパフォーマンスの高い新機種「XG-4」や、スカイピング加工に旋盤で対応したモデルなど、耳目を集める製品群を出展しました。

当社ブースに来られたお客様と活発な商談が行われ、出展した製品群は高く評価されました。



新会社オープニング・セレモニー

平成27年2月にタイにて設立した自動車部品加工を行う子会社TP MACHINE PARTS CO., LTD.で、同年7月にオープニング・セレモニーを開催しました。

取引先や関係者を招待し、タイの伝統に則った、僧侶9人による発展・繁栄祈願を行いました。



デンソー仕入先表彰「総合賞」受賞

平成27年5月、平成26年度の優秀仕入先として株式会社デンソー様より「総合賞」をいただきました。技術、納期、コスト面において多大な貢献をしたことで、同社の主要仕入先約300社の中から選ばれました。



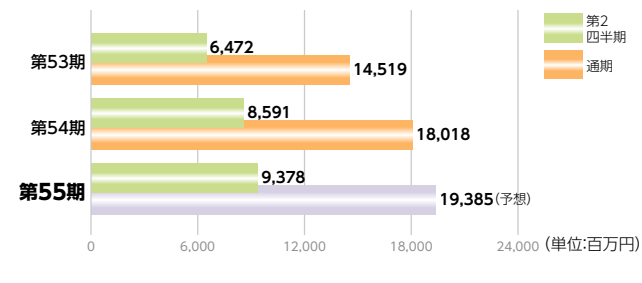
業績の推移

連結業績ハイライト

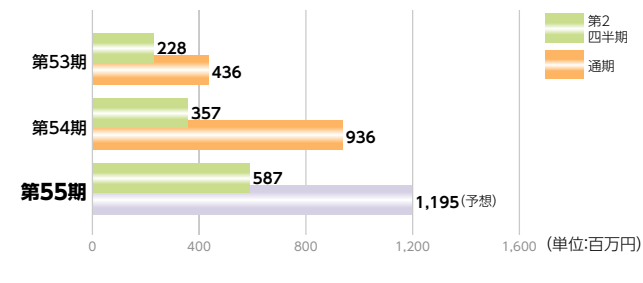
科目	第53期 (平成25年度)	第54期 (平成26年度)	第54期第2四半期 (平成26年度)	第55期第2四半期 (平成27年度)
売上高	(百万円) 14,519	18,018	8,591	9,378
営業利益	(百万円) 737	1,354	571	833
経常利益	(百万円) 905	1,459	578	888
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	(百万円) 436	936	357	587
純資産額	(百万円) 10,241	11,303	10,382	11,812
総資産額	(百万円) 17,845	19,574	18,687	20,017
1株当たり四半期(当期)純利益	(円) 40.08	85.37	32.61	53.41
1株当たり純資産額	(円) 937.99	1,026.89	944.40	1,072.15

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

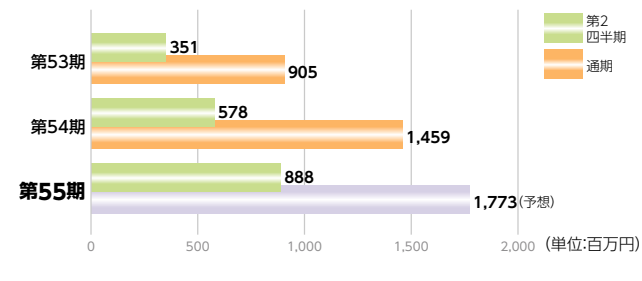
●売上高



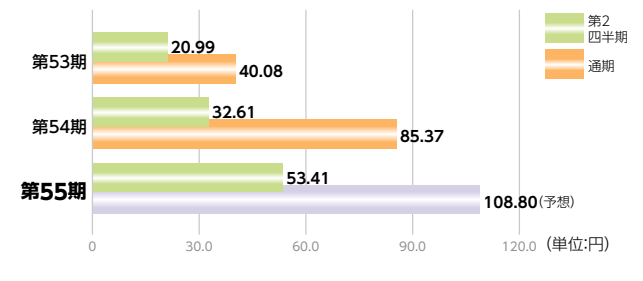
●親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



●経常利益



●1株当たり四半期(当期)純利益



第2四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

科 目	前期末 (平成27年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成27年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	13,172	13,566
現金及び預金	3,875	3,326
受取手形及び売掛金	5,459	6,107
電子記録債権	829	665
商品及び製品	468	661
仕掛品	1,231	1,144
原材料及び貯蔵品	945	1,045
その他	376	629
貸倒引当金	△ 12	△ 13
固定資産	6,401	6,450
有形固定資産	4,717	4,722
建物及び構築物(純額)	1,520	1,495
土地	2,287	2,287
その他(純額)	909	940
無形固定資産	158	135
投資その他の資産	1,525	1,591
その他	1,560	1,626
貸倒引当金	△ 34	△ 34
資産合計	19,574	20,017

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科 目	前期末 (平成27年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成27年9月30日現在)
(負債の部)		
流動負債	6,559	6,606
支払手形及び買掛金	3,664	2,323
電子記録債務	518	2,223
短期借入金	948	848
未払法人税等	338	358
賞与引当金	185	257
役員賞与引当金	37	19
製品保証引当金	55	56
その他	810	518
固定負債	1,710	1,598
長期借入金	731	621
役員退職慰労引当金	370	385
退職給付に係る負債	392	385
その他	216	205
負債合計	8,270	8,204
(純資産の部)		
株主資本	10,521	10,998
資本金	1,835	1,835
資本剰余金	1,818	1,818
利益剰余金	6,879	7,356
自己株式	△ 11	△ 11
その他の包括利益累計額	765	785
その他有価証券評価差額金	175	195
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	450	464
退職給付に係る調整累計額	140	125
非支配株主持分	16	27
純資産合計	11,303	11,812
負債純資産合計	19,574	20,017

第2四半期連結財務諸表

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期累計 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	8,591	9,378
売上原価	6,454	6,914
売上総利益	2,136	2,463
販売費及び一般管理費	1,564	1,629
営業利益	571	833
営業外収益	26	61
営業外費用	19	6
経常利益	578	888
特別利益	3	—
特別損失	0	0
税金等調整前四半期純利益	582	888
法人税、住民税及び事業税	274	351
法人税等調整額	△ 49	△ 47
四半期純利益	357	584
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△ 2
親会社株主に帰属する四半期純利益	357	587

(注) 各計算書において、記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期累計 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	357	584
その他の包括利益	△ 70	19
その他有価証券評価差額金	9	20
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△ 27	△ 3
退職給付に係る調整額	△ 8	△ 14
持分法適用会社に対する持分相当額	△ 44	16
四半期包括利益	286	604
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	286	607
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△ 3

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

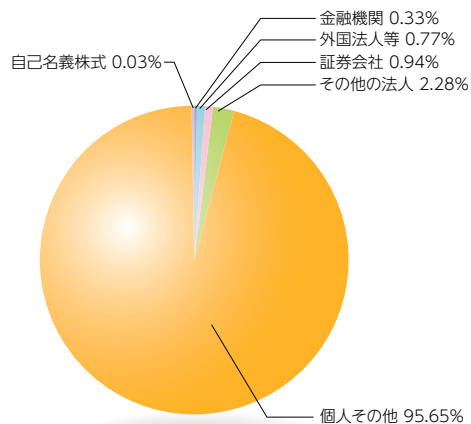
科目	前第2四半期累計 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	225	253
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 400	△ 325
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 178	△ 332
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 20	△ 6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 374	△ 410
現金及び現金同等物の期首残高	2,442	2,362
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,068	1,951

株式の状況 (平成27年9月30日現在)

株式の状況

- ①発行可能株式総数…………… 30,000,000 株
- ②発行済株式総数…………… 11,020,000 株
- ③1単元の株式数…………… 100 株
- ④株主数…………… 2,989 名

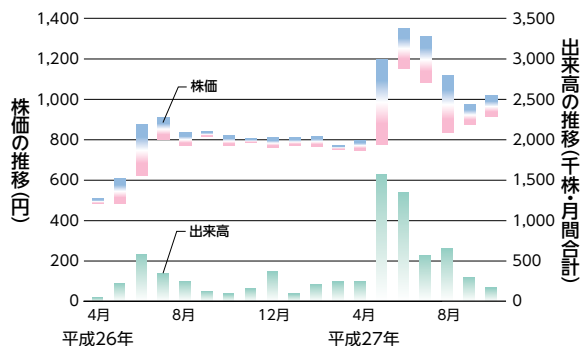
所有者別分布状況



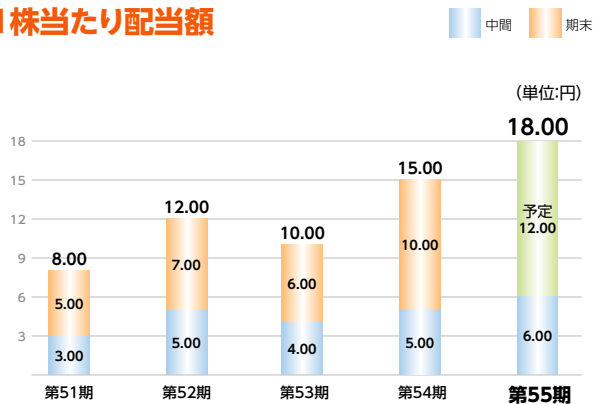
大株主

株主名	当社への出資状況	
	所有株式数(千株)	持株比率(%)
株式会社タカマツ	810	7.35
高松機械工業取引先持株会	782	7.10
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	579	5.26
北国総合リース株式会社	433	3.93
株式会社北国銀行	408	3.70
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	390	3.54
日本生命保険相互会社	384	3.48
明治安田生命保険相互会社	360	3.27
高松機械工業社員持株会	345	3.13
株式会社朝日電機製作所	340	3.09

株価インフォメーション



1株当たり配当額



会社の概要 (平成27年9月30日現在)

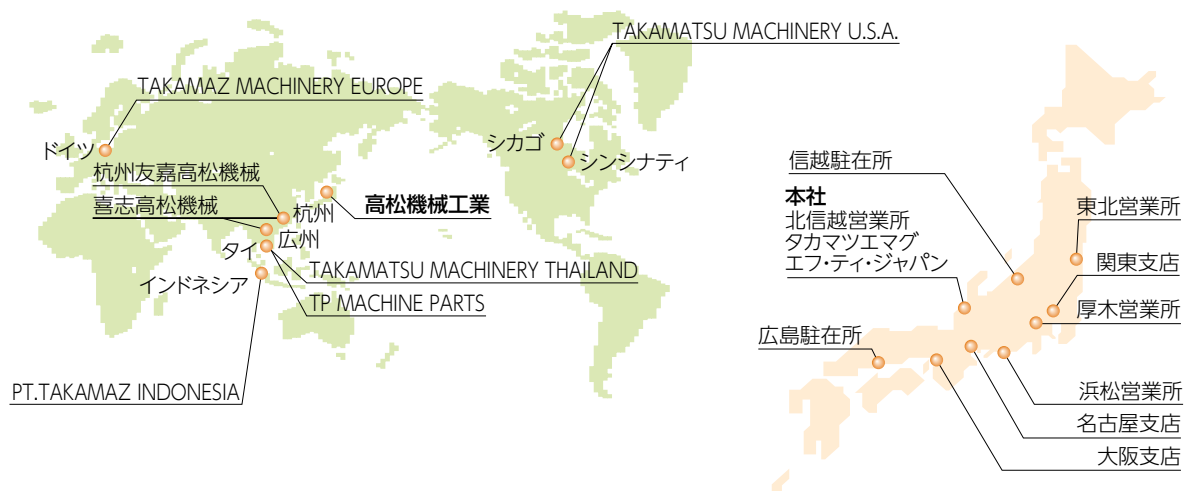
会社概要

商号 高松機械工業株式会社
 設立 昭和36年7月
 資本金 18億3,539万円
 本社 石川県白山市旭丘1丁目8番地
 従業員数 481名
 子会社および関連会社 TAKAMATSU MACHINERY U.S.A., INC.
 TAKAMATSU MACHINERY (THAILAND) CO., LTD.
 TAKAMAZ MACHINERY EUROPE GmbH
 喜志高松機械(杭州)有限公司
 PT.TAKAMAZ INDONESIA
 TP MACHINE PARTS CO., LTD.
 株式会社タカマツエマグ
 杭州友嘉高松機械有限公司
 株式会社エフ・ティ・ジャパン
 ホームページアドレス <http://www.takamaz.co.jp>

役員

代表取締役社長	高松 喜与志
代表取締役副社長	高松 宗一郎
専務取締役	前田 充夫
専務取締役	中西 与平
常務取締役	溝口 清
取締役	宮川 隆
取締役	徳野 穰
取締役	中川 進
取締役	磯部 稔
取締役(社外)	中西 祐一
常勤監査役	池上 佳信
監査役(社外)	鍛冶 敏弘
監査役(社外)	杖村 修司

ネットワークとサービス体制



アンケートのご報告

単元株主様の第54期株主通信に同封しました「株主アンケート」におきましては、
 たくさんのご回答をいただき誠にありがとうございました。
 アンケートの集計が完了しましたので、その一部ですがご報告させていただきます。

単元株主数	2,257名
アンケート回答数	610名
アンケート返信率	27.0%

●当社のホームページをどれくらいの頻度でご覧になりますか？

ほとんど見ない	34.5%
まったく見ない	27.2%
年に数回	26.5%
月に数回	8.7%
週に数回	2.3%
無回答	0.8%

●ホームページではどのページをよくご覧になりますか？ (複数回答可)

企業情報	31.0%
IR情報	19.0%
製品情報	13.9%
採用情報	0.8%
その他	3.6%
無回答	31.7%

ホームページのご案内



当社はホームページにて、さまざまな情報を配信しております。
 当社のご理解や最新情報のご確認に、ぜひご覧ください。
 株主の皆様からいただきました貴重なご意見は、企業価値の
 向上およびIR活動の拡充に参考とさせていただきます。
 今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

事業所



本社工場(工作機械事業)



本社工場 航空写真



第2工場(コレットチャック生産)



第3工場(自動車部品加工)



開発センター(IT関連製造装置)

製品のご紹介



NEW XW-60/60M

従来機より省スペースを実現し、更に加工能力の向上、サイクルタイム短縮をはかりました。

また、複合加工機能を搭載したモデルも追加し、よりお客様の要望に応えます。



NEW XG-4

加工精度向上による生産性アップはもちろん、作業者の使いやすさを考えて設計した新製品です。

また、タッチパネル式の操作盤を採用し、直感的な簡単操作が可能となりました。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月中

株主確定基準日 (1) 定時株主総会 3月31日
(2) 期末配当金 3月31日
(3) 中間配当金 9月30日
(4) その他必要ある時 あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人 および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031
(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告の方法 当社ホームページに掲載
<http://www.takamaz.co.jp>

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

お問い合わせ先 管理本部 企画経理部
TEL 076-274-1410(直通)
FAX 076-274-1418

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会については、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。



TAKAMAZ
高松機械工業株式会社

ホームページ <http://www.takamaz.co.jp>

200
UD FONT

このパンフレットは再生紙を使用しています。

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

